

平成 30 年度 第 1 回学校評議員会 議事録

平成 30 年 7 月 18 日

1 日 時 平成 30 年 7 月 18 日 (水)

10 : 10 ~ 11 : 00 授業見学

11 : 10 ~ 12 : 00 評議員会

2 出席者

学校評議員 4 人 (欠席 三河委員)

本校職員 6 人 校長、副校長、事務長、総務主任、教務主任、保健厚生主任

3 会議等内容

(1) 県教委からの委嘱状配布

(2) 授業見学

(3) 評議員会

ア) 小原校長挨拶

イ) 教育活動の概況説明

①平成 30 年度学校経営計画及び重点目標について 校長及び各担当より説明

- ・平成 29 年度「雫石高校将来ビジョン」を策定したこと。30 年度は、事業計画を策定していくこと。
- ・「わかる授業」の推進のため、きめ細やかな指導を実践していくこと。
- ・少人数ならではの強みを活かし、一人ひとりに応じた指導を継続していくこと。
- ・地域社会と協力し生徒を育てていくこと。
- ・欠席生徒は少なく、生徒は、楽しく学校生活を送っていること。
- ・学校生活(生徒会活動)では、一人ひとりが主役となって活動できること。
- ・復興教育や町の施策と関連させ、山田高校との交流を図ること。
- ・いじめアンケートを実施。未解決事案はないこと。
- ・ボランティアや地域活動を充実させること。
- ・町スクールバスを活用し、キャリア教育の推進を図ること。
- ・防災に関する意識を高めること。危機管理マニュアルの改訂をしたこと。
- ・町との連携を含め、地域への情報発信に努めること。
- ・芸術鑑賞は、町と連携を図り、中学校と合同鑑賞としたこと。
- ・ドイツ高校生の受入事業を継続して実施していること。
- ・創立 70 周年記念式典を、今年度 10 月に実施すること。

ウ) 各委員から質疑、ご意見・提言等

- ・授業見学の際、黒板・掲示板に調理場勤務のアルバイト募集などがあった。防災の立場から、社会人として「火の取り扱い」や「火災防止」に目を向けるよう教えていくことも大切と感じた。
- ・資格取得について、危険物取扱試験の受検者が少なくなっている。有資格者も減ってきているので、是非、沢山受検してほしい。
- ・いじめアンケートを昨年度2回から、今年度3回実施としていることは、いじめの小さいうちに問題を解決することとなり、良いことと感じる。
- ・あいさつ運動は、非行防止に効果がある。警察も協力していきたい。

Q 御所湖まつりやよしゃれ祭りなど町内の祭り時に、高校からは巡回指導に出ていますか？

A 盛岡地区生徒指導連絡会として、盛岡さんさ踊り、長期休業中の盛岡市内等の巡回指導には対応している。昨年度は、町内の行事には対応していない。

- ・実態調査を見て、家庭学習では、中学校から指導の大切さを感じる。部活動の活動状況が昨年度より増加していることは、少ない人数でも、一生懸命の雰囲気があり、少人数指導の成果ではないか。
- ・あいさつ運動は、中学校でも行っている。高校生も挨拶を返してくれるなど良いことである。一方で、男女で手を繋いで歩いている生徒もいる。限られた地域なので、小中高の連携した指導が必要である。
- ・国際交流事業は、地域の子どもたちによいチャンスである。継続してもらいたい。
- ・学校生活では、進路、特に就職について気がかりがある。雫石町の生産人口の確保のためにも、高校生には、雫石の良さを教えていただき、地元に残る子供たちを育てて欲しいと思う。

エ) その他

高校より 「現在、町スクールバスを高校生が通学に利用できるように進めていただいている。」